大和の吉野山の桜は物語りを聞き知りの遠に旅路ふ勝景
奇觀ふ眼を驚ー紙もて心を慰むる日ハ稀ふして風雨霜雪ふ行艱
路ふ嶮岨ふ見て為ふ煩ふ松路ふ傳ひて為ふ上ふ新ふ郊原遠ふ本の長して慰む
墓ふ居も之場ふ多く驚退屈して道ふ疲ふ足ふ舊ふ蔓ふ繁ふ伝ふ
不歩運往ふ方の的ふ幸ふ〳〵遠ふ〳〵ふ分ふ強ふ憂ふ悲ふ樂ふ
幸抱ふ〳〵ふ〳〵長物語ふ觀ふ〳〵ふ隨ふ心ふ快ふ面
白ふ場ハ稀ふ〳〵今此ふ事ふ
おふ〳〵ふ三文ふ
ふ〳〵ふ〳〵ふ〳〵

藤の裏葉乃巻

赤松

梅之丞

足利

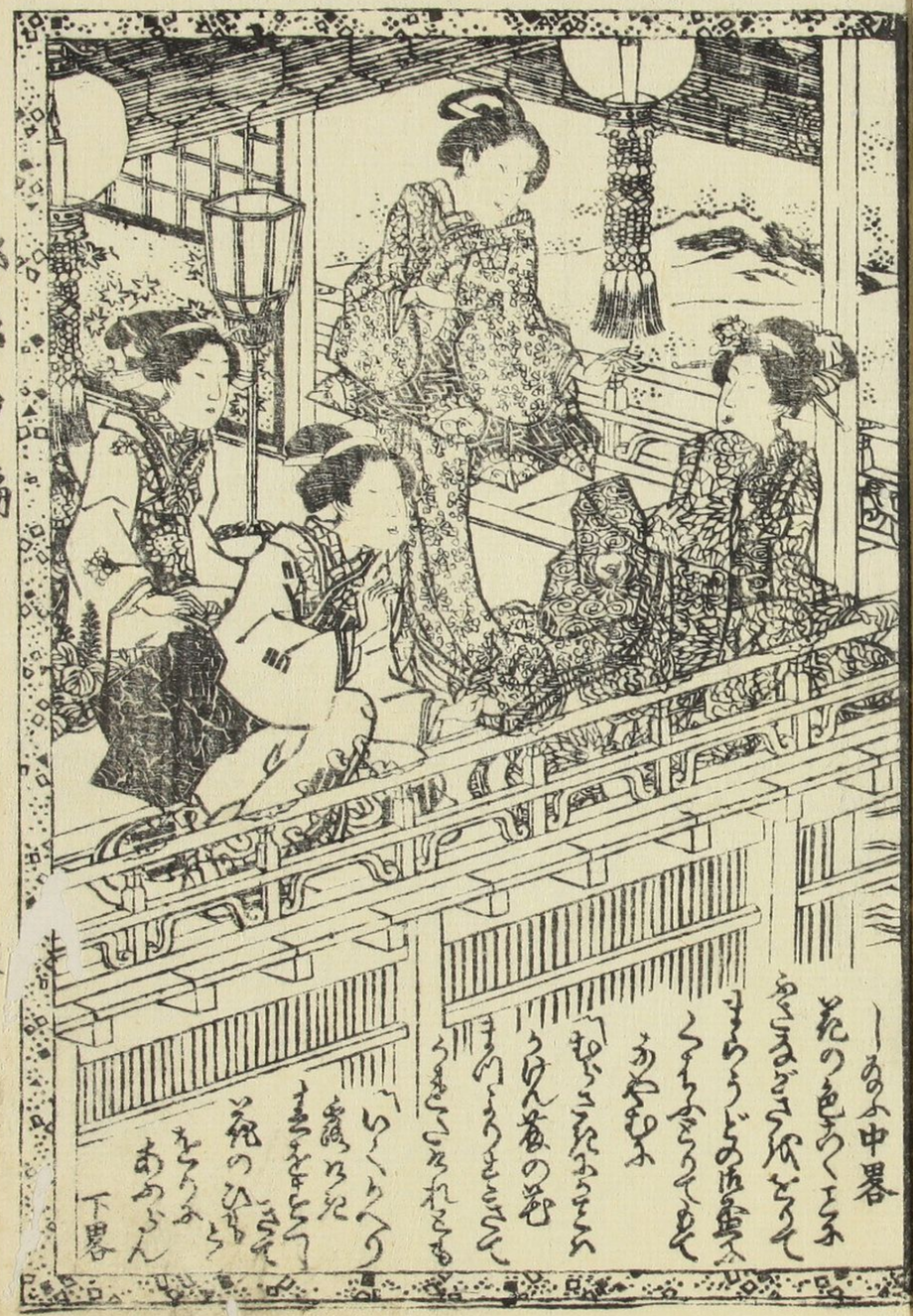
雲井

氏仲

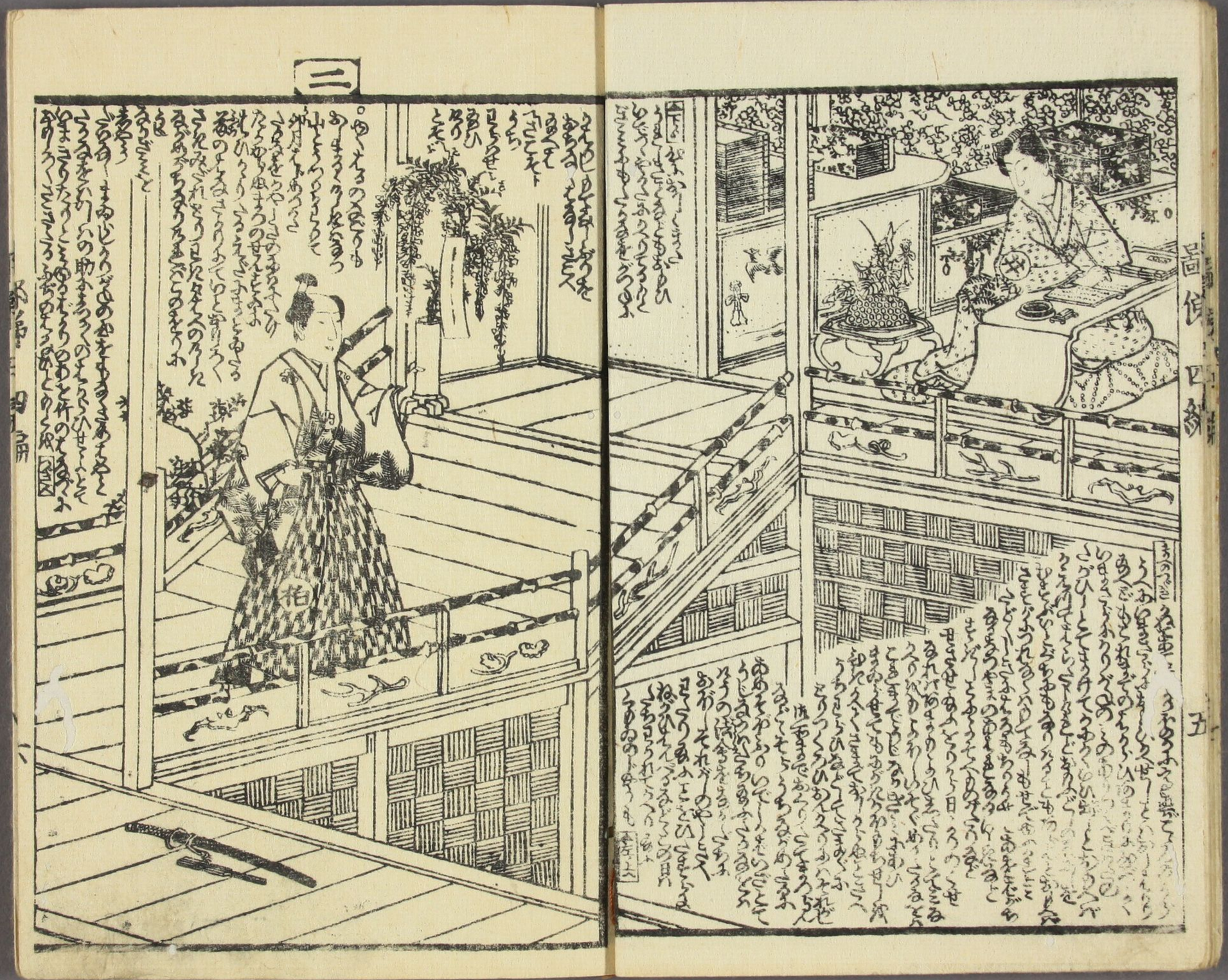
之丞

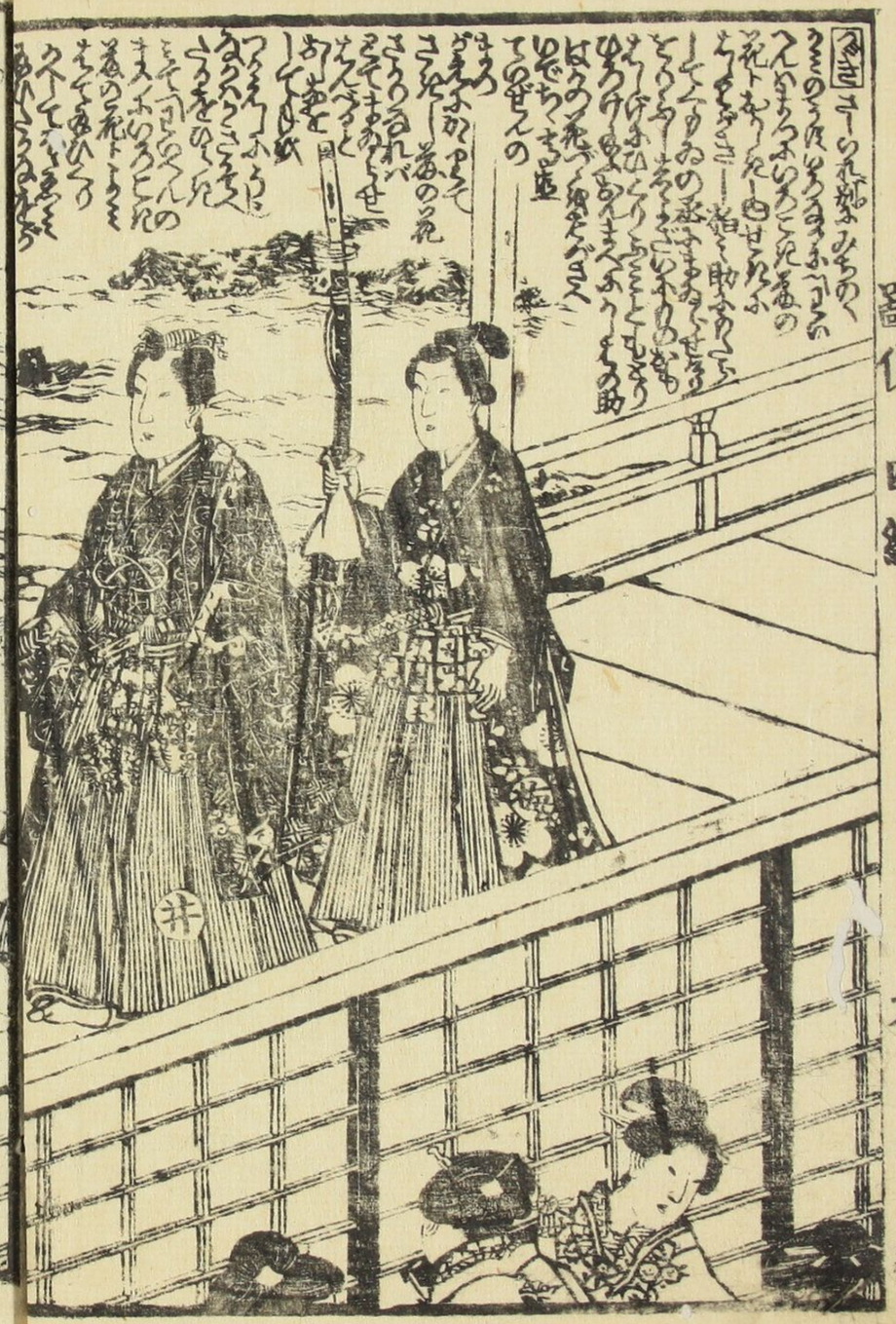
赤松

柏之助

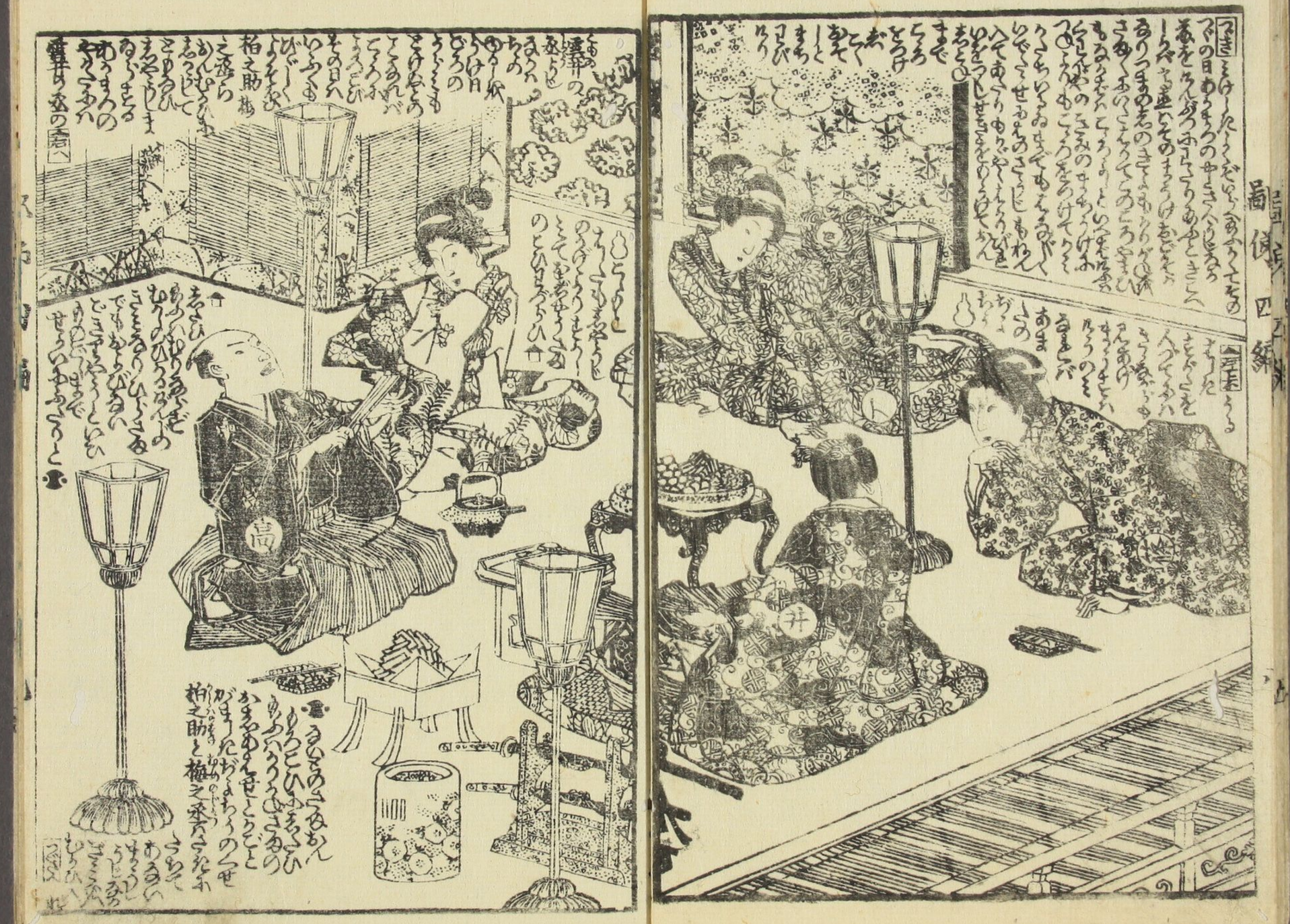


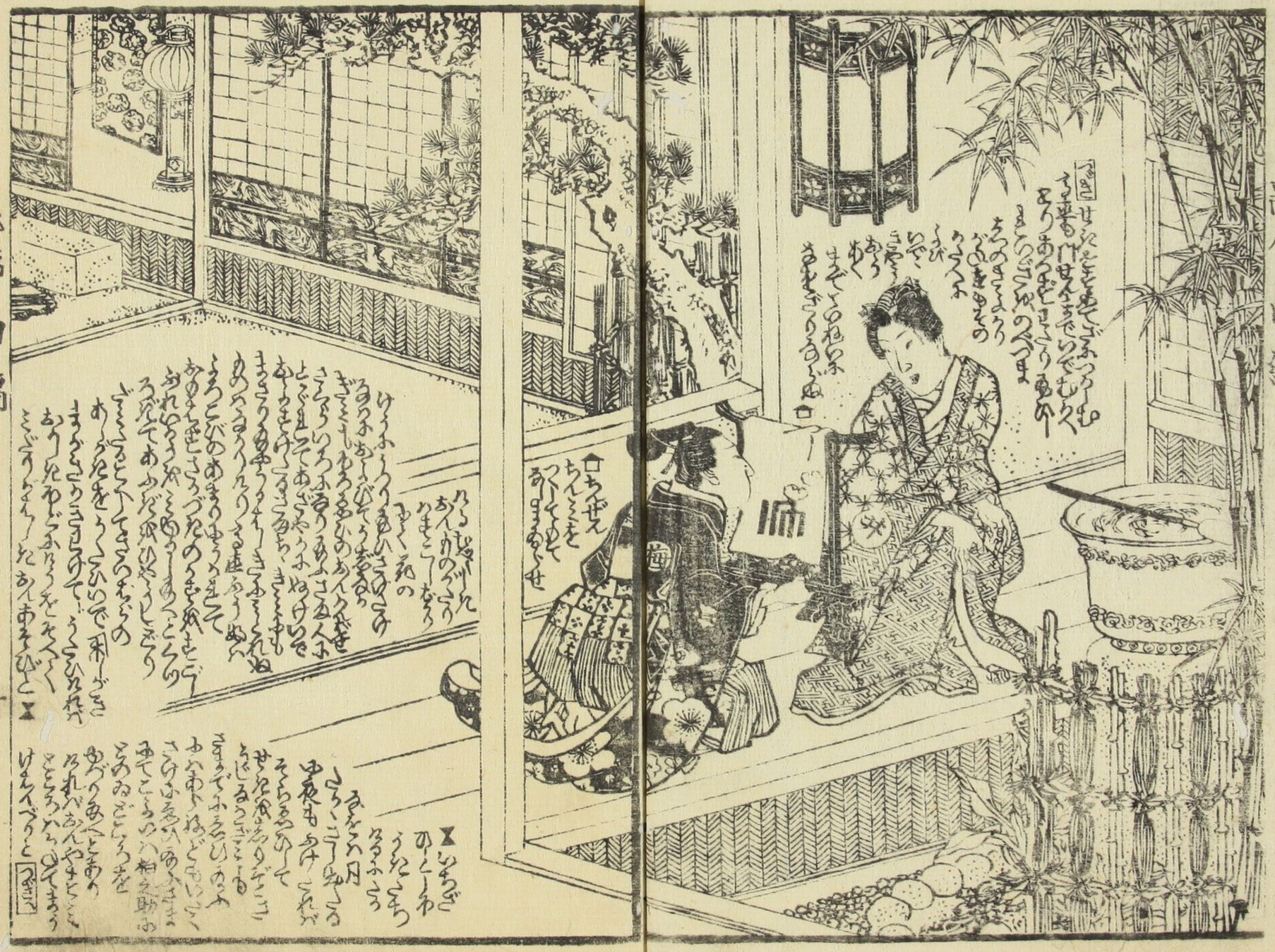
高直
梅之助
梅之丞
井


二
五


井

柏




ちぜん
ちんこを
つくってあるまるせ

樂亭西馬作　六編
稲妻形怪鼠摽子　出板
一勇齋國芳画　七編

比異仕立　二個ぐん
美多仙果作
一壽齋國貞画　四編　五編

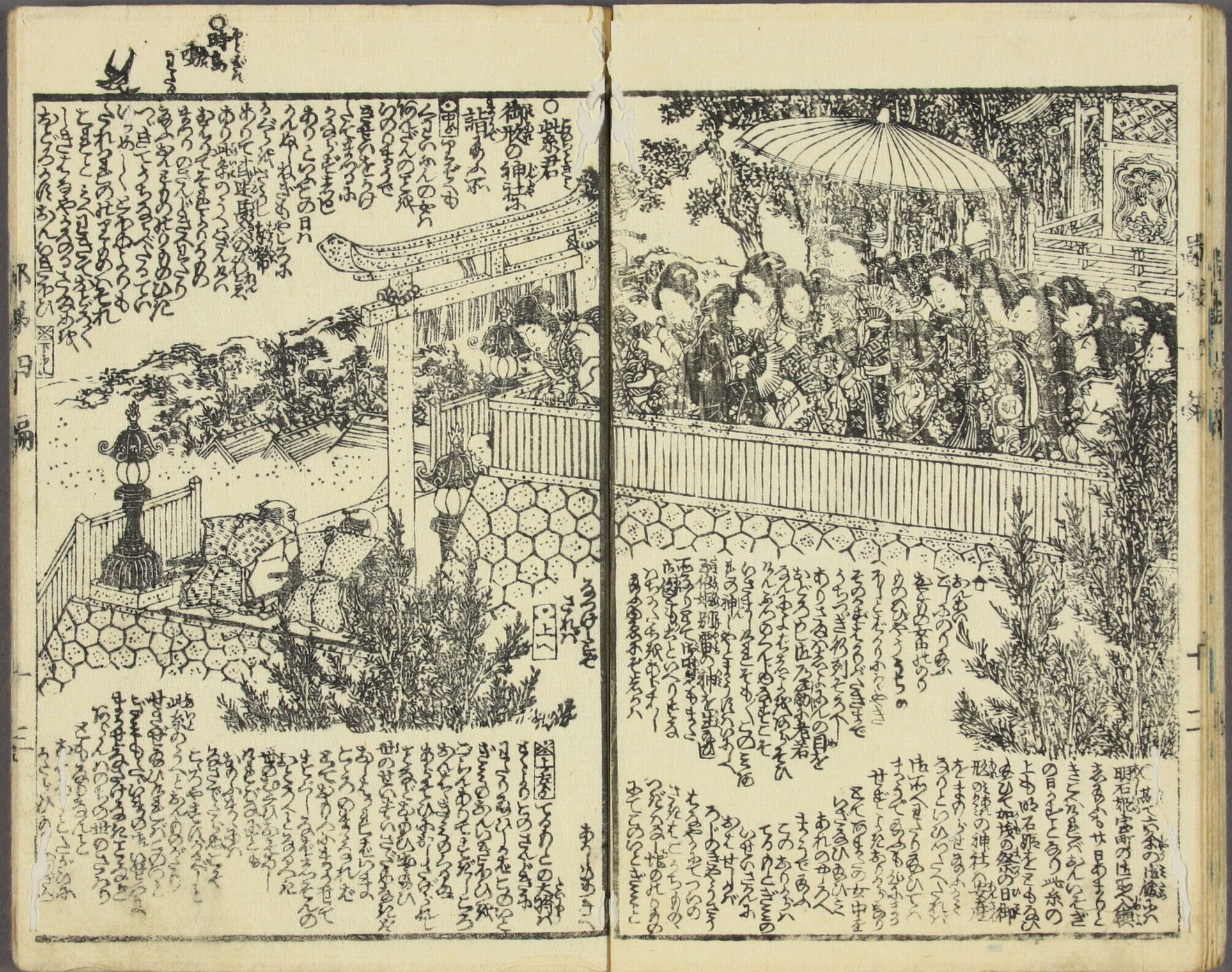
安政七年庚申孟春新刻

菊紅葉　國貞画
種　清錄　全三編後切
字津谷峠

壽笑亭笑壽作　五編
與謝武郎戀夜話
一壽齋國貞画　六編

錦昇堂　ぶんぶんや

一筆庵就作
一陽斎豊国



紫君
始て
朝霧が
對面を賜ふ

足利義久公諸侯を召
旨寿公は明石姫を媒せ
多の御元服の支度議

足利耀長公

赤松 高直

一式 虞廉

香壽丸
十四才
元服
足利
義澄公
と號す

其由縁鄙俤 十四編 笠亭仙果著作
十十 十五編 梅蝶樓國貞画
十六編

十勇士尼子の礎 三編 爲永春水作
四編 一壽齋國貞画

兩夜鐘四谷雜談 五編 河竹其水作
六編 歌川國貞画

比奈乃都大内譚 初編 笠亭仙果作
二編 一勇齋國芳画

錦昇堂藏板略目録

地本繪草紙問屋 江戸てりふり町 惠比壽屋庄七板